

【私たち慈恩寺小学校の教職員は、いじめを絶対許しません!】

つよく ただしく なかよく ～きらりと輝く慈小っ子～ 子どもに『笑顔、自信、学力』を



# 慈恩寺小だより やまぶき

さいたま市立慈恩寺小学校

令和8年2月2日 2月号

〒339-0009 さいたま市岩槻区慈恩寺259

TEL 048-794-1140/FAX 048-795-0377



## クラスのヒーロー今昔～「自己肯定感」

もちづき やすし

校長 望月 泰志

むかしむかし、昭和のある日、あるところに、Aさんという子がいました。Aさんは「ネコふんじやった～♪ネコふんじやつた～♪」得意満面に教室のオルガンを弾きます。すると、「すごいねえ。どうしてそんなに上手なの？」憧れの視線でオルガン周りに集まくるBさん、Cさん。こんなやりとりによって、Aさんはクラスのピアノ部門ヒーローになりました。その他、ボールリフティングを左足で5回できるDさん。折り紙「鶴」を完璧に折れるEさん。プールで15m潜水できるFさん。それぞれの分野でいろいろなヒーローが生まれました。彼らは自信にあふれ、みんなの羨望の的であり、自己肯定感に溢っていました。あれから数十年の年月が経ち、2026年。メディアでは「天才小学生」が注目され、難曲「ラ・カンパネラ」を弾いたり、4桁暗算をしたり、大人顔負けのプロ級技能をもった子どもの特集が組まれ、脚光をあびます。逆説的に「あまりの技の完成度の高さに、こんなにすごい技能をもたないと褒められないの？」と心配になってしまいます。昔なら、小さな特技でも周りの級友から脚光を浴び、たくさん褒められ、自己肯定感が芽生え、次への挑戦活力となりました。しかし、今の時代では、その評価基準が高騰し、小さな特技は鳴かず飛ばす状態に甘んじ、「褒められる」機会が減少し、「自己肯定感」をもたずに、次の年代ステージに進まなければならない子が増加しているように感じます。先日読んだ読み物を紹介します。

「現代の子どもたちは、自らの努力やプロセスに対して、内的な達成感を抱きにくくなっている。その背景には二つの大きな社会的要因が横たわっていると考えられる。」第一に、「成果主義」的な文化の浸透です。家庭や学校、更には社会全体において、「結果」や「才能」のみが称賛され、そこに至るまでの「努力や過程」が軽視される風潮がある。子どもたちが成果を出した時だけ褒められる経験を繰り返すことは、裏を返せば「成果を出せない自分には価値がない」という強烈なメッセージとして内面化される。第二に、SNSなどによって常態化した「他者との比較」です。他者の華々しい「結果」だけが可視化される環境は、常に他者からの評価や期待の視線にさらされている状態を生み出す。

安部慎也(独立総合教育政策研究所所長)

成功した「結果」ばかりを求めず、結果がどうあれ、そこに至るまでの「過程(プロセス)」に着目し、子どもがどう考えたのか、どう工夫したのか、そして、どうやって課題解決に取り組んだのかを直視し、認め励ましてあげることで、子どもたちの内的達成感は向上します。また、本人の行動に注目し、他者と比較せず、本人に寄り添い伴走してあげることで更なる子どもの成就感向上にもつながると考えます。

中学校では部活、受験、高校では部活、進路決め、大学では就職準備、大人になると仕事、家庭、等、年代ステージがあがるにつれ、時間的制約は増加し、自分の「自由時間」が減少します。「人間が自分の自由時間を使いのままに使える時期は、小学生年代だけである」という教育者もいます。大人が無駄と思うことも、子どもにとっては大切な意味があることもあります。子どもたちには、子ども時代を、子どもらしく生活してもらいたいです。そして、将来、立派な人間になってほしいです。そのためにも、子どもたち一人ひとりにそれぞれの長所を生かし、いろいろな分野で自分の得意なことを伸ばし、「ヒーロー」になってほしいです。

【今月の読書】「ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー」著者: ブレイディみかこ

優等生の「ぼく」が通う中学は、毎日、事件の連続です。人種差別、貧富の差、アイデンティティの違いなど、世界の縮図のような日常を描いたノンフィクションです。



【学校からのお知らせ】 ※紙媒体を希望されるご家庭は、連絡帳にて担任までお知らせください。

○授業参観・懇談会について

1 日時

令和8年2月26日(木)第6学年 「ありがとうのきせきの会」 会場:体育館

令和7年3月 2日(月)第1、4、5学年

令和7年3月 5日(木)第2、3学年、たんぽぽ学級

・授業参観 13:45~14:30

・校長挨拶 14:40~14:50

・学年、学級懇談会 14:50~15:20

2 場所 慈恩寺小学校 体育館、各学級教室

3 懇談会後、保護者の方と一緒に下校するお子さんについて

懇談会後に『下校する／待機する』について確認をします。二次元コードより、前日までに回答をお願いします。

(安心メールへformsのリンクをはります。そちらからも回答可能です。)

※1、2年生は、全員の回答をお願いします。3~6年生は、お子さんが授業参観終了後に『待機する』場合のみ、回答をお願いします。

※詳細は、学校HP→各種お知らせ→学校から をご覧ください。

【令和7年度 3学期末の授業参観後】  
お子さんの下校について 回答フォーム



○ボランティアの募集について

年度末を迎えるにあたり、子どもたちが気持ちよく新学期を迎えるよう、ボランティアの募集を行います。

今回は、『タブレット端末の整備作業』と『校内大掃除』です。「少しだけなら手伝えるかも」という方も大歓迎です。参加人数把握のため、ご参加いただける方は、二次元コード(安心メールのURLも可)より、前日までに申込みください。保護者の皆様のご協力をお待ちしております。

1 タブレット端末整備ボランティア

(1) 日時 令和8年3月12日(木) 9:30~11:00

(2) 内容 新タブレット端末(約300台)の保護フィルム・名前シール貼り付け

2 大掃除ボランティア

(1) 日時 令和8年3月25日(水) 11:00~11:40

(2) 内容 第1・第2校舎の窓まわり、ベランダの清掃

3 その他

・両日とも受付は、第1校舎昇降口です。

・大掃除は、動きやすい服装で、掃除用具(雑巾、窓用ワイパー、軍手など)がありましたらお持ちください。

・清掃用具は学校でも一部用意があります。

・申込み後、都合がつかず欠席する場合でも学校への連絡は不要です。

【令和7年度3学期 ボランティア募集  
申込みフォーム】



○赤い羽根募金について

保護者の皆様の温かいご支援により、合計4,177円が集まりました。集まった募金は、防災対策や福祉など、町をよりよくするために役立てられます。ご協力いただきありがとうございました。

○学校給食費について

学校給食費第7期(12月分)の納付期限(口座振替日)は2月2日(月)です。口座登録済みの方は残高不足にご注意ください。

問合せ先:おいしい給食サポート課給食会計係 048-829-1591

【学年からのお知らせ】

【3年】

2月18日(水)は、クラブ見学(6校時)があります。下校時間が変更となります。15時35分下校開始です。